

県共進会 優秀賞目指して

久米島町肉用牛共進会

8月27日、久米島家畜セリ市場で第19回久米島町肉用牛共進会が行われました。今回は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、規模縮小し、関係者のみの開催になりました。今回の審査により上位2頭は11月5日に開催予定している第47回沖縄県畜産共進会へ久米島代表牛として派遣されます。



順位	若雌1類			若雌2類		
	出品者	出品牛	字名	出品者	出品牛	字名
優秀賞1席	知念 美沙樹	★やすかめ	阿嘉	吉永 安克	たかのり	真我里
優秀賞2席	知念 幸真	ゆりひさ	阿嘉			
順位	成雌1類			成雌2類		
	出品者	出品牛	字名	出品者	出品牛	字名
優秀賞1席	吉永 安克	あつし	真我里	翁長 一成	★ゆります	宇江城
優秀賞2席	翁長 一成	みさ	宇江城	翁長 豊	ゆります	宇江城

★県畜産共進会派遣候補牛

那覇-久米島間を90分で結ぶ

超高速船航路運航実証

那覇—久米島間を90分で結ぶ超高速船ジェットフォイルの実証運航が、9月1日、2日の2日間にわたり実施されました。実証運航は、第一マリンサービス(株)が観光庁の補助事業を活用し、久米島商工会、(一社)久米島町観光協会を主体とした「那覇・久米島超高速船航路実証事業委員会」により行われました。超高速船は、鹿児島県の種子・屋久高速船(株)からレンタルした定員240名、全長約27m、重量164トンで、ジェットエンジンを搭載しており、水中翼で船体を浮かすことにより時速80キロで航行するタイプです。実証運航には、旅行業者も体験搭乗し、久米島到着後に宿泊施設を視察し、高速船を利用した旅行商品の可能性など、観光協会が主催する意見交換を行いました。



こんにちは、島コン矢島です。そろそろ秋めいてきて、我々のいる仲原家でも柿の収穫ができました。さて、今月は、今年の4月から「広報くめじま」の各記事にSDGsの17種類の目標のいずれかのアイコンが表示されているお話しです。

SDGsとは、国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。空き家コラム「家や宝」には、11番目の「住み続けられるまちづくりを」と12番目の「作る責任、使う責任」のアイコンが表示されています。

「住み続けられるまちづくりを」の目標には、現在住宅不足という問題があり、それを解消するための施策であるという視点。

「作る責任、使う責任」の目標には、空き家問題があり、それを何とかするための視点があります。

この2つの問題を解消するためにはそれぞれ密接に関連し、どちらか一つだけを解消するということでは、持続可能な問題解決にはなりません。また、実際のところ、この2つの目標だけが関連しているのではなく、9番目の「産業と技術革新の基盤をつくる



「住まらぬSDGs」



う」(改修工事の方法や空き家管理の事業化など)や13番目の「気候変動に具体的な施策を」(新築するよりカーボンニュートラルな方法であるものを使う)や15番目の「緑の豊かさを守る」(有効利用することで、僅かでも森林伐採を阻止)なども関連させることによって国連のいうSDGs「持続可能な開発目標」の達成に向かっていくのではと考えます。

そして、この目標達成には期限があります。それが2030年まで、後9年で達成させなければならぬのです。(2015年に採択され、もう1/3が経過しました。)

夏休みの宿題と同じで、ゴールが近くと急いでやらなきゃならない気持ちになります。これを機会に、一つの空き家活用の解決を考えてみませんか。

★10月の空き家活用相談は、コロナウイルス感染症対策もあり、まずはお電話で問合せください。